



相



CONTENTS

○不妊治療の保険適用	p2
●新入医師・職員インタビュー	p3
○トピックス（4回目ワクチン接種・外来受付時間変更・オンライン資格確認）	p4
●理事長退任のご挨拶	p4
○フロリール調布（端午の節句・褥瘡予防ケア研修）	p5

2022年4月より 不妊治療が保険診療となりました

少し身近になった?不妊治療についてご説明します。



不妊症って?

日 本産婦人科学会では、妊娠を望む健康な男女が避妊をせずに性交渉を一定期間続けても妊娠に至らない状態を「不妊」と定義しています。以前は一定期間を2年としていましたが、今は1年とするのが一般的です。妊娠を希望されている健常なご夫婦であれば、6ヶ月で約70%、1年以内で90%近くが妊娠に至るといわれています。

女 性の加齢により38歳前後より妊娠性(妊娠のしやすさ)が急に低下するといわれます。そのため、特に35歳以上のご夫婦で毎月排卵日付近に性交渉をもっても妊娠しないような場合や、月経周期がバラバラだったり生理の量がとても多い、生理痛がとても辛いなどの症状がある場合は、無排卵症などのホルモン異常、子宮筋腫や子宮内膜症などがある可能性もあり、できるだけ早めに婦人科を受診することをお勧めします。

不妊症の検査・治療

不 妊症の原因は男性側、女性側でほぼ半々といわれているため、パートナーと二人で検査を受けることが大切です。不妊治療にはタイミング療法や人工授精といった一般不妊治療と、体外受精・顕微受精などの高度な治療(生殖補助医療)があります。

こ れまでは不妊症の原因を診断するための検査や、不妊の原因となる子宮内膜症などの疾患に対する治療および一般不妊治療の一部のみが保険診療の対象でしたが、2022年4月以降、一般不妊治療と生殖補助医療のどちらも保険診療の対象となりました。



現在受けている治療や検討中の治療が保険適用になるかどうか不安な方は、ぜひご相談ください!

当院での検査と治療

当 院では不妊検査と一般不妊治療が可能です。不妊検査としては、ホルモン検査、超音波検査、子宮卵管造影検査、精液検査(パートナーの方の受診は必ずしも必要ではありません)などを行っています。

不 妊治療としては、性交渉のタイミングをエコーなどで確認し指導するタイミング療法と、あらかじめ排卵日を推定し細いチューブを使用して精液を子宮内に注入する人工授精を行っています。人工授精はこれまで自費診療でしたが、このたび保険診療となり患者様の経済的負担は軽くなっています。

不 妊検査で男性不妊症が判明したり、人工授精でも妊娠に至らないような場合、ご年齢などにより早めに治療内容をステップアップしたいなどのご希望に応じ、体外受精などの生殖補助医療を行っている医療機関にご紹介いたします。

不 妊症について検査・治療などをご説明いたしました。「そろそろ赤ちゃんが欲しいな」「結婚したけど、生理が不順。妊娠できるかしら」などご心配なことがありましたら、まずは婦人科外来でご相談ください。



不妊治療の保険適用

新入医師・職員インタビュー

新任医師

内科外来 片倉 尚子先生



①ご出身は?

広島出身です。波がおだやかな瀬戸内海があり、毎年夏になると島に行って泳いでいました。川も山も多く、花火大会や灯篭流しこを取りに行つたことも良い思い出です。

②医師を目指した理由は?

小学生の頃に病気をして、「なぜ病気になるのか」を知りたかったことと、また治していただいたことにより医学に興味を持ちました。

③マイブームは何ですか?

自転車です。最近買って、10年ぶりに乗っています。

④患者さんに一言お願いします!

みなさんが病気を持っていたとしても、日々つつがなく生活ができるようお力になれば幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

新任医師

整形外科 長谷川 淳先生



①ご出身は?

生まれも育ちも三鷹で、現在も三鷹に住んでいます。家の近くには森鷗外と太宰治のお墓があります。大学受験の時にはお墓で合格祈願をした覚えがあります。

②医師を目指した理由は?

医師ではありませんが、親の影響です。

③マイブームは何ですか?

ラグビーはブームではなく、ずっと好きです。さらに人気が出て盛り上がることを願っています。

④患者さんに一言お願いします!

整形外科疾患、脊椎疾患、スポーツ外傷でお困りの方はご相談ください。ラグビーのドクターもやっていますので、興味のある方は教えてください。

新入職員

2F病棟 看護師 石橋 美瑠さん



①ご出身は?

東京都調布市です。都心へのアクセスが良く、老若男女問わず住みやすい街です。

②看護師を目指した理由は?

母、姉が看護師をしており近くでその存在を見ていた影響で、私も何か人の役に立ちたい、手に職をつけたいと思ったからです。

③マイブームは何ですか?

知らない場所に行くのが好きで、よく旅行に行きます。

④患者さんに一言お願いします!

まだまだ看護師としては未熟ですが、精いっぱい頑張ります。

新入職員

4F 助産師 立石 理花子さん



①ご出身は?

群馬県です。自然豊かで、一応関東圏内の県です。うどんや焼きまんじゅうなどが有名です。

②看護師を目指した理由は?

小学生くらいから漠然と看護師に興味がありました。また、中学生の時に職業体験で助産所に行かせていただき、お産を見学させていただいたことで助産師という職種があることを知り、助産師になるため看護学校に入学しました。

③マイブームは何ですか?

音楽を聞くことと、3COINSに行くことです。

④患者さんに一言お願いします!

助産師としてまだ新人で未熟なところはありますが、産婦人科病棟で勤務していた経験をもとに、他先輩スタッフ・医師から指導を受けることで、妊娠婦さんやそのご家族に寄り添い、安心して入院生活が送れるよう努めていきたいと思います。よろしくお願ひします。

新入職員

医事課 山口 節子 さん



①ご出身は?

山口県で生まれました。その後、転勤族だったので学生時代は転校を繰り返しました。こちらには約20年前に来ましたが、兵庫県の西宮市が一番長かったです。甲子園球場の近くでしたので、試合の時は、テレビの音声と窓から風にのった応援が多重に聞こえていました。休みの日は、神戸に遊びに行くことが多かったです。

②医療事務を目指した理由は?

医療関係の仕事は、東京に来てからになります。地域に密着した、高齢者の多い医療機関に長くおりました。

③マイブームは何ですか?

家族のaioboと遊ぶことです。去年は、マスク作りがマイブームでした。

④患者さんに一言お願いします!

安心して受診ができるような、温かい雰囲気づくりができたらいいなあ…と思います。患者様に自分の病院を感じていただけるように、接していくたいです。



新型コロナワクチン 4回目接種開始のお知らせ

当院では、現在4回目のワクチン接種を開始しております。対象は60歳以上で調布市から4回目 の接種券がお手元に届いている方です（18歳以上60歳未満の基礎疾患をお持ちの方は、市への申請が必要です）。1回目・2回目・3回目の方も引き続き受け付けております。

ご予約は、右記のワクチン接種予約専用ダイヤルにてお受けいたします。ホームページに番号掲載がありますので、そちらをご確認ください。くれぐれもお間違いないようお願ひいたします。

※なお、使用するワクチンはファイザー社製です。



外来受付時間の変更について

調布病院では、4月から外来の受付時間が変わりました。午前の診療受付は8時45分から、午後の診療受付は13時45分からとなりました。それに伴い、午前の受付終了時間は12時30分から12時45分まで延長となりました。

今まで、午前の受付に間に合わず診療を諦めていた患者さんがいらっしゃいました。お仕事の都合などで、どうしても受付時間に間に合わない患者さんにとって15分の延長は大きな違いとなりました。以前は「申し訳ございません。受付時間を過ぎておりまして…」とお断りすることもありましたが、最近は受付でのそういうやりとりが聞かれなくなりました。

私たち調布病院のスタッフは、これからも患者さん一人ひとりの声を大切にしていきたいと思います。また、地域のための病院であり続けたいと考えております。これからも、よろしくお願ひいたします。

トピックス

午前 受付時間 8:45～12:45(一部診療科を除く)
診療開始 9:00

午後 受付時間 13:45～16:00
診療開始 14:00

※病院開錠時間は、感染対策のため8時30分とさせていただきますのでご了承ください。



オンライン資格確認システム

令和4年4月1日より、**オンライン資格確認システム**を導入いたしました。これにより、マイナンバーカードを読み込むことにより健康保険証、限度額認定証、限度額適用・標準負担額認定証の情報が受付にて確認できます。マイナンバーカードをお持ちであれば保険証を持ち歩かずに済み、入院時等に必要だった市役所での限度額認定証の手続きを省くことができます。

日本医師会も推奨しており、テレビ等でもマイナンバーカードの作成を促しておりますので、お持ちでない方はこの機会に作成してみてはいかがでしょうか。



お知らせ

理事長退任のご挨拶

令和4年5月24日、桐光会理事会にて私の理事長退任が承認され、5月25日の任期満了をもって山田亜矢病院長が理事長を兼任する事になりました。

私は昭和53年9月に調布病院産婦人科に入職し、平成5年6月より理事長を務めて参りました。長い間無事に職責を果たせた幸運に感謝し、関係者の方々に篤く御礼申し上げます。

調布病院は昭和28年（1953年）6月に杉崎千登子が結核専門病院として開設、その後科目を増やし昭和40年3月に救急指定を受け急性期病院となりました。そして老健施設フローリール調布・調布訪問看護ステーションを併設して三者一体となって地域医療・介護に取り組んできました。

令和2年1月以来医療界・介護業界は新型コロナ感染症に翻弄されております。当法人も例外ではありませんが、関係者皆様のご協力・ご支援によりどうにか無難にやり過ごしています。今後も地域住民の皆様方が安全に安心して過ごせますよう、山田亜矢理事長を筆頭に3施設全職員が一体となり全力で皆様のご要望にお応えし、お役にたてるよう励む所存ですのでお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

私は一理事として暫くは在職する予定です。ご意見がありましたら何なりとお寄せ下さいませ。

令和4年6月1日
杉崎 那美子

端午の節句

こどもの日である5月5日は「端午の節句」「菖蒲の節句」と呼ばれ、男子の健やかな成長を祈願し、各種の行事を行う風習があります。

フロリールでは端午の節句に因み五月人形を飾り、5月3日～5月5日までイベント湯として菖蒲湯を実施しました。利用者の方からは「こういう所でまさか菖蒲湯に入れるとは最高です」と、ありがとうございました。5月5日には職員が大正琴を披露し、琴の音色に合わせてご利用者の皆さんで合唱し、和やかな雰囲気で過ごすことができました。



じょくそう 褥瘡予防ケア研修

先日、褥瘡予防の施設内研修を行いました。簡単にその研修内容をご紹介いたします。

褥瘡とは、一般的には「床ずれ」と呼ばれるものです。褥瘡は、皮膚が一定時間圧迫されつづけることで皮膚の血流が低下し、それにより皮膚が壊死してしまう状態のことをいいます。通常私たちは、寝返りをしたり座り直したりすることにより、圧迫されている箇所の“圧抜き”を自然とやっていますが、寝たきりになり自力で圧抜きをできなくなると、その箇所に褥瘡ができてしまうことがあります。

しかし、介護する側が褥瘡発生の原因を理解し、介護技術を持つことができれば、予防することはできます。今回の研修を通して、まずは少しでもご自分で動くことができるよう生活の中でリハビリをすることの重要性を改めて認識しました。また、しっかりと食事をとっていただくことや清潔保持に努めること、入浴後の保湿、適切な体位変換など基本的な介護技術の研鑽が大切であることを認識しました。

これからも、職員一同、褥瘡予防ケアに取り組んでまいりたいと思います。



介護副主任：根津



フロリール調布